



南 魚 沼 市



本年もよろしくお願いたします!



浦佐「むかしや」
教えてもらって作ったよ!
よしっ今年もがんばるぞ!



南魚沼市浦佐の雪国体験史料館「むかしや」で16日、市立総合支援学校中学部の生徒8人が、お年寄りに教わりながら正月飾りの門松をつくった。

地元のお年寄り10人が先生。生徒が両手でわらをこすり、お年寄りが仕上げた縄を、3本の竹の束に巻いて、松葉や松ぼっくりを飾った。完成した高さ40センチほどの門松を手にし、生徒たちは「上出来だ」「いい感じ」と満足そうだった。

生徒たちはすでに二つ目に取りかかった。一つ目は自分の家で飾る。二つ目は、今年一年お世話になった人への贈り物。「自分用の門松より、きれいに作

る」。生徒たちは「一生懸命に取り組んだ」。

「地域の人たちと触れ合う、良い機会になりました。来年以降も続けたい」と引率の教師。総合支援学校の生徒たちの門松作りは初めて。年末のすてきな風物詩となりました。

(江川慎太郎)

(江川慎太郎)



12月14日、2月のSO全国大会に出場予定の山口大將さん(小5)、野澤敬音さん(中3)が、地元ラジオ局「FMゆきぐに」でインタビューを受け、大会への意気込みを語りました。山口さんはスノーシュー、野澤さんがフロアホッケーの種目にそれぞれ参加します(写真:左から塩谷真美アナウンサー、野澤さん、岡田当校教諭、山口さん、南魚沼SO担当の谷口さん)。

南魚沼市はSO全国大会を応援しています。市内小中特別支援学校では各県選手を応援する旗を作りました。当校は鹿角県を担当しました。右の写真が子どもたちの作った旗です。作られた旗は会場等に掲示される予定です。



新瀉日報 1 月 5 日

カフェ交歓が盛況

首都圏の障害者ら約200人が先月末の3日間、小栗山のほてる木の芽坂に滞在し、市総合支援学校生徒らと交流

市総合支援学校生徒らと交流
するなどした「写真Ⅱ」

東京都内のボランティア団体「ア
ス力共和会」が年2回旅行を企画し
、今回が10回目の訪問となる。

交流イベントではボウリング、釣
りなどの店を開いて楽しんだ。市総
合支援学校生徒は職業学習として市
図書館などで開いている「MSGカ
フェ」を出店し、大勢の客でにぎわ
った。

同校高等部3年の高橋弘樹君(18)
は「他県の人と交流できる。こんな
機会はめったにない」と笑顔。同3

上：アスカ王国会長 橋本久美子さん（橋本龍太郎元首相夫人）
を囲んで

左：激励にきた長島忠美さん（衆議院議員）と高3秋山司さん



12月27日、はてる木の芽坂で、(一社)アスカ王国青少年自立支援機構「ふれあいの旅」交流会が開催されました。アスカ王国は、35年前から障害のある人や大学生、ボランティアなど約200名の参加による共同生活体験を実施しています。南魚沼は今年で10回目。

今年、当校高等部6名が交流会に参加し、コーヒを振る舞ったり、授業で製作した製品を販売したりしました。

参加者は一様に生徒の態度や姿、笑顔が素晴らしいとほめてくださいました。参加した生徒も口々に楽しかったと感想を述べていました。とてもよい交流になりました。



年の近藤哲哉君(18)も「カフェが
盛況で幸せ」と満足そうだった。